

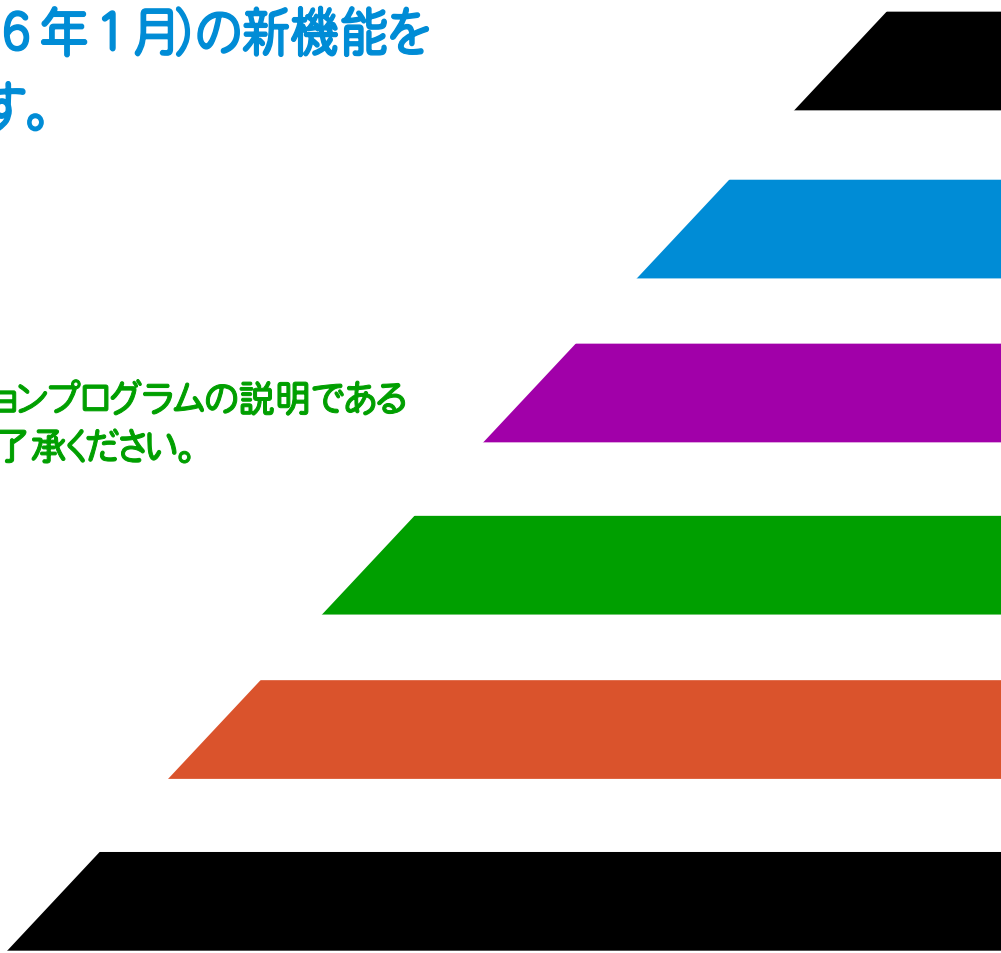


X-FIELD

新機能 (2016年1月)

X-FIELD (2016年1月)の新機能をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。



目次

新機能



X-FIELD

(2016年1月)

1 共通 P.1

1- 1	マニュアル表示を追加	1
1- 2	BEST FAQ表示を追加	1
1- 3	Windows10に対応	2
1- 4	複数器械の観測条件設定に対応	2
1- 5	路線計算「垂線の足」に機能追加	3
1- 6	CIMPHONY連携データの追加	4

2 GNSS 観測 P.5

2- 1	観測条件設定に「デモ用」を追加	5
------	-----------------	---

3 電子納品写真 P.6

3- 1	分類取り込み時の「工事名」取り込みに対応	6
3- 2	黒板設定に[文字入力]コマンドを追加	8
3- 3	黒板設定に[イメージ貼付]コマンドを追加	9
3- 4	黒板の位置をドラッグで変更	10

1 共通

共通の新機能をご紹介します。

1-1 マニュアル表示を追加

[ヘルプ]—[マニュアル]コマンドを追加しました。

インターネット上でマニュアルを検索し閲覧できます。(この機能の利用にはインターネットの接続が必要です。)



1-2 BEST FAQ 表示を追加

[ヘルプ]—[BEST FAQ]コマンドを追加しました。

[BEST FAQ]を検索し閲覧できます。

(この機能の利用には電話サポートへの加入と、「BEST FAQインストールCD」から、BEST FAQのインストールが必要です。)



1-3 Windows10 に対応

Windows10へ正式に対応しました。

ただし、パナソニックホームページに記載されている正式な手順に沿ってアップデートされたWindows10のみ対応となります。

■パナソニックのWindows10アップデート手順URL
<http://askpc.panasonic.co.jp/win10/up/>

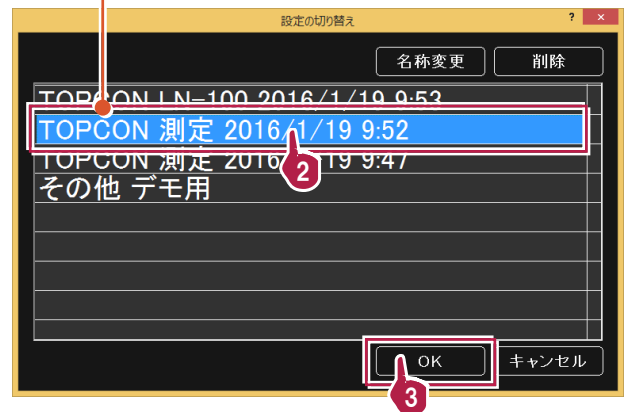
1-4 複数器械の観測条件設定に対応

観測条件の設定を、複数保持し切り替えできるようにしました。

複数の器械を保持し、利用しているお客様の場合に有効な機能です。



以前に設定した観測条件が履歴表示されます。
今回使用する観測条件を選択して[OK]をタップします。

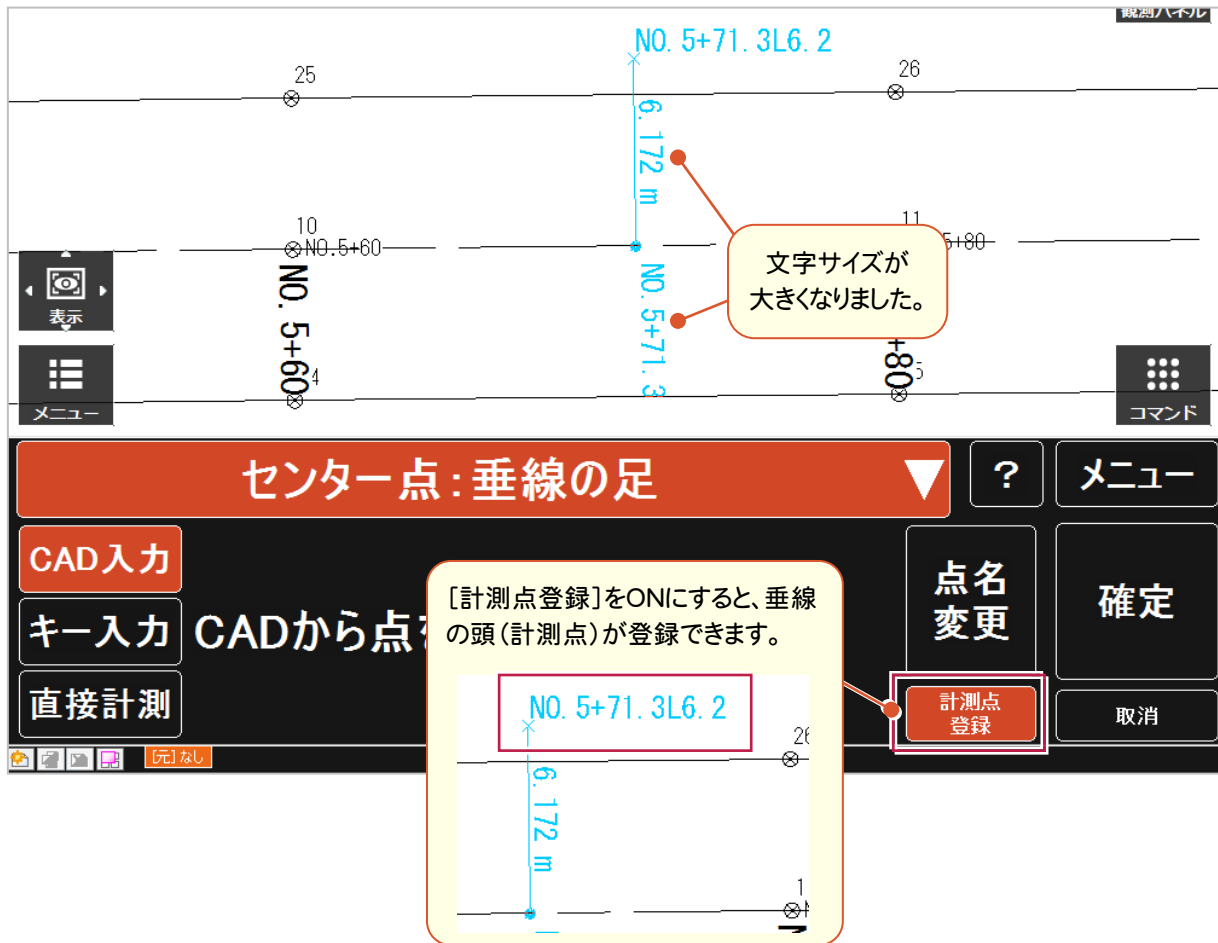


※ 観測条件の名称は、[名称変更]ボタンで変更できます。
接続する器械に合わせた名称に変更すると、後で選択しやすくなります。

1-5 路線計算「垂線の足」に機能追加

路線計算の「垂線の足」で、以下の機能を追加しました。

- ・ 離れと累加距離の仮表示について、文字サイズを大きくしました。
- ・ 垂線の頭(計測点)を登録できるようにしました。



1-6 CIMPHONY 連携データの追加

[ファイル] - [CIMPHONY連携]に、[土工管理データ読み込み]と[土工管理・土木横断データ書き込み]の2つのコマンドを追加しました。

- [土工管理データ読み込み]では、「EX-TREND武蔵 建設CAD」の土工管理機能で設定した情報を、CIMPHONY経由で、X-FIELDに読み込むことができます。
- [土工管理・土木横断データ書き込み]では、X-FIELDで観測した図面横断観測の成果データ、土木横断観測の成果データをCIMPHONYに書き込むことができます。書き込まれたデータはCIMPHONY経由で「EX-TREND武蔵 建設CAD」に読み込むことが可能です。



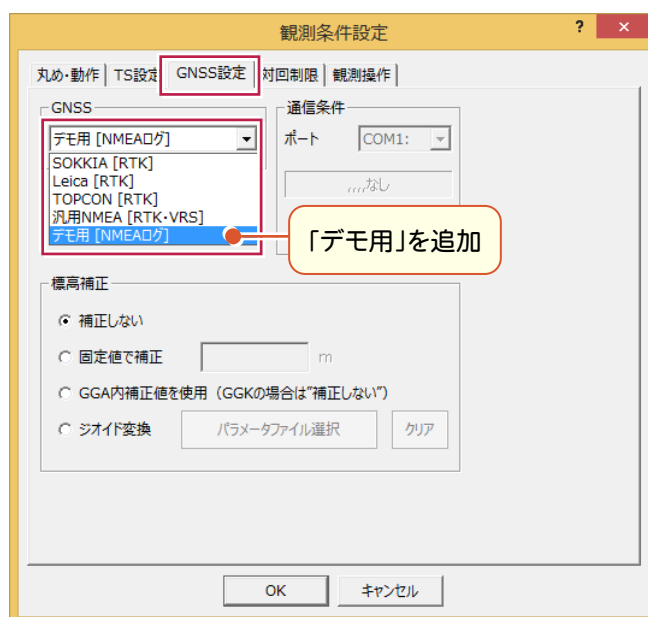
2 GNSS 観測

GNSS観測の新機能をご紹介します。

2-1 観測条件設定に「デモ用」を追加

観測条件設定の[GNSS設定]に、「デモ用」を追加しました。

GNSS機器と接続しなくても、GNSS観測の動作を確認することが可能です。

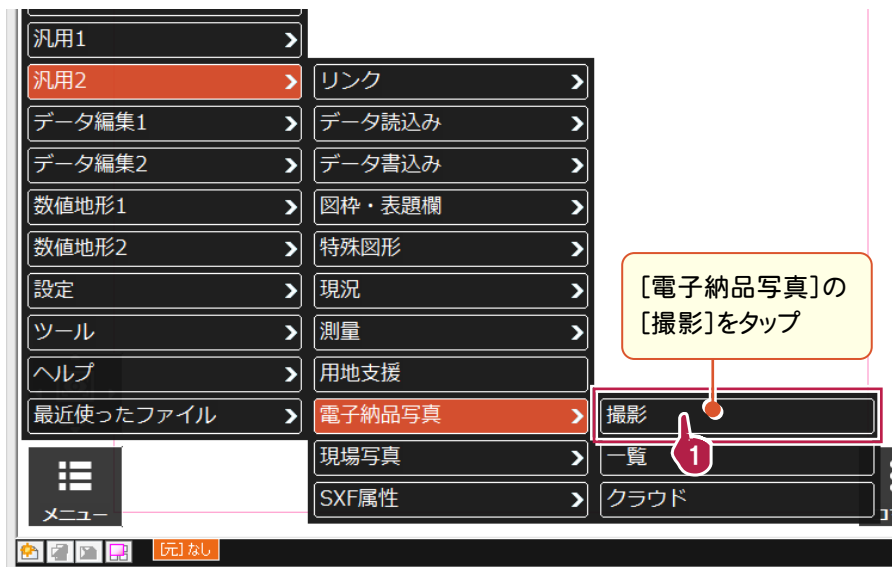


3 電子納品写真

電子納品写真の新機能をご紹介します。

3-1 分類取り込み時の「工事名」取り込みに対応

電子納品写真の撮影時に、[黑板設定]の[分類取込]をおこなうと、取り込んだ分類の工事名が黑板の「工事名」に入力されるようになりました。



次ページへ



続き ↓

工事名

工種

撮影箇所

写真区分

撮影月日

請負者名

黒板選択

分類取込

編集 3

データ入力

文字入力

イメージ貼付

削除

確定

取消

[分類取込]をタップして、EX-TREND武蔵の「写真管理」から出力された分類ファイルを取り込みます。



工事名 サンプル写真・電子納品工事

工種

撮影箇所

写真区分

撮影月日

請負者名

黒板選択

分類取込

編集

データ入力

文字入力

イメージ貼付

削除

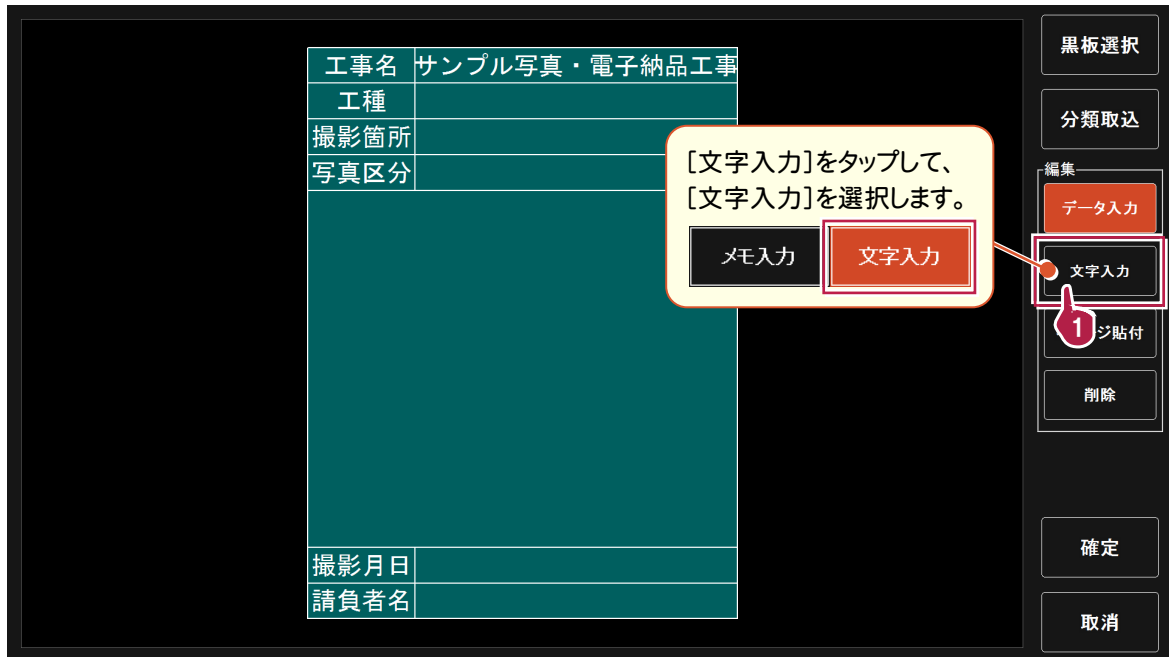
確定

取消

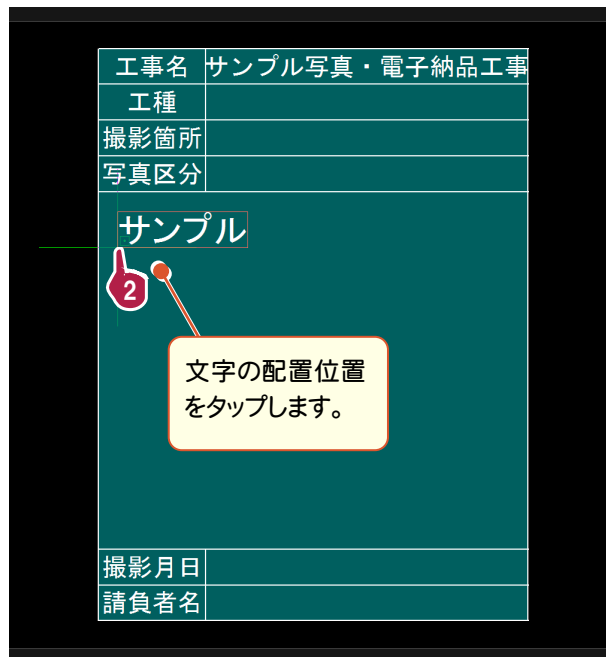
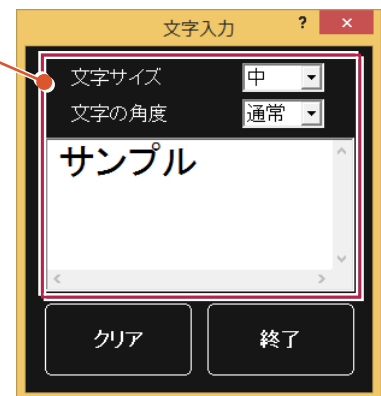
「工事名」が入力されます。

3-2 黒板設定に[文字入力]コマンドを追加

黒板上に文字を入力するコマンドを追加しました。



入力する文字のサイズ、
角度、内容を設定します。

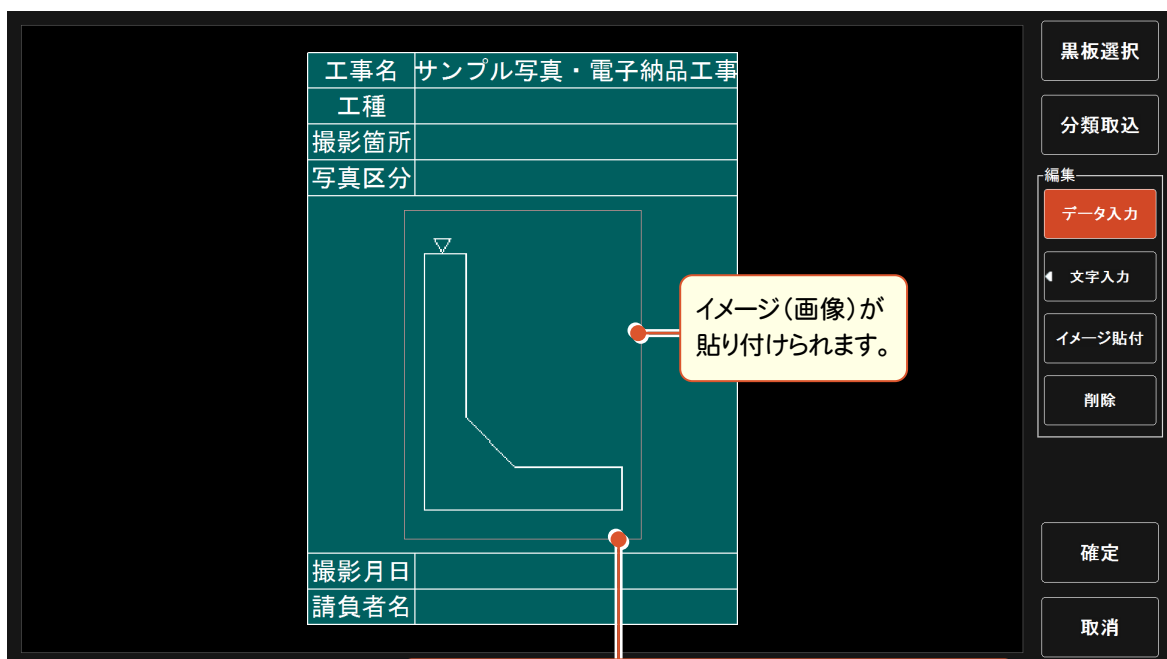
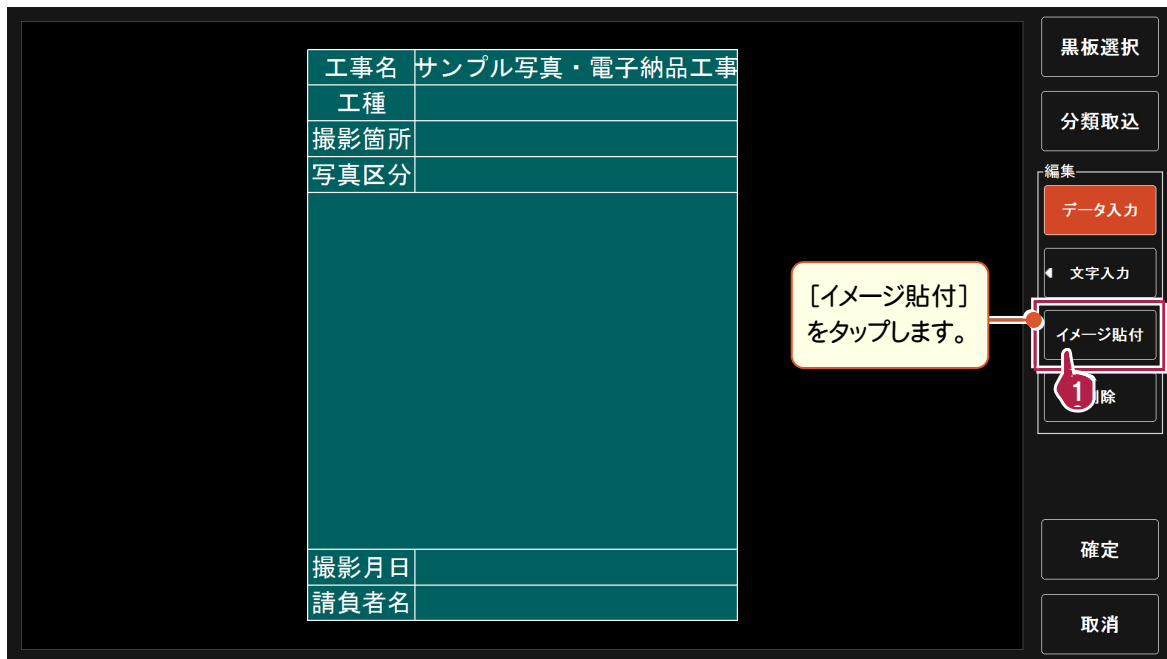


3-3 黒板設定に[イメージ貼付]コマンドを追加

黒板上にイメージ(画像)を貼り付けるコマンドを追加しました。
クリップボードのデータを、「イメージ」(画像)として黒板上に配置します。

CAD画面で作成した豆図などを貼り付けたい場合は、CAD画面で[データ編集2]-[クリップボード]の[複写]または[複写(範囲指定)]でクリップボードにコピーしてください。

あらかじめ貼り付けるイメージ(画像)
をクリップボードにコピーしておきます。



配置したイメージは、ドラッグして位置を移動できます。
また四隅をドラッグして、サイズの変更が可能です。

3-4 黒板の位置をドラッグで変更

黒板の位置を、ドラッグで変更できるようになりました。

北緯: 36度06分57秒
東経: 136度16分24秒
画素数 約192万画素
大 中 小
明るさ
コントラスト
露出 自動
既定の設定
上
左 位置 右
下
大 サイズ 小

工事名	
工種	
撮影箇所	
写真区分	
撮影月日	
請負者名	

黒板をドラッグします。

カメラ2
上下回転
黒板設定
黒板表示
撮影
削除
閉じる



北緯: 36度06分57秒
東経: 136度16分24秒
画素数 約192万画素
大 中 小
明るさ
コントラスト
露出 自動
既定の設定
上
左 位置 右
下
大 サイズ 小

工事名	
工種	
撮影箇所	
写真区分	
撮影月日	
請負者名	

黒板が移動します。

カメラ2
上下回転
黒板設定
黒板表示
撮影
削除
閉じる